

令和2年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑧	学校名	明日香養護学校
----	---	-----	---------

1. 取組名 「明日香村について考えよう、知ろう」

2. 取組概要

- | |
|---|
| ・教科「社会」で、地域の明日香村について調べ学習を行った。 |
| ・教科「社会」で、明日香村の伝統について古代衣装やDVDを用いて理解を深めた。 |
| ・教科「社会」で、明日香の歴史を飛鳥資料館の学芸員のリモート講義で学習した。 |

3. 特徴

- | |
|--|
| ・毎年、地域の方から明日香村の伝統料理や工芸を直接指導してもらっていたが、コロナ禍で不可能であったため、今年度は明日香村観光協会から古代衣装の貸し出し、飛鳥資料館よりリモート講義を行った。 |
| ・古代衣装を着たり、リモート講義を受けたりすることで飛鳥時代の伝統について学び、その成果をまとめプレゼンテーションを行った。 |

4. 成果、課題

- | |
|--|
| ・学校周辺には古い歴史産物が多くあることを、改めて生徒が知ることができた。また、飛鳥時代の文化を生徒が主体的に学びたいという意欲が高まった。今回は一部の生徒のみで行ったが、学校全体の活動として広げることができる活動である。 |
| ・日常生活の中で、本校生徒が地域の方と触れ合う機会は非常に少ない。今回の活動で、学芸員から講義を受けることで、地域の方との交流ができたことはとても良い経験となった。今後も方法を工夫し、さらに地域の方との交流を深めることができると考える。 |

5. 本事業による取組とコミュニティ・スクールの導入・推進との関わり

- | |
|---|
| ・地域に開かれた学校を目指し、本事業で豊富な地域の資源を積極的に活用したい。今年度取り組んだリモートによる外部講師の活用は今後も継続していきたい。CS導入により、地域に開かれる学校校づくりをめざしたい。 |
| ・「明日香村について考えよう、知ろう」の取り組みは、一部の生徒の取り組みだった。今後は、対象を広げて取り組んでいきたい。取り組みにより地域の方々とふれあいながら「明日香村」への興味関心が高まることが期待できる。本校の実態に合った方法をさらに工夫し、これらの力を育む教育に取り組んでいきたい。 |

